

2020年度通常総会 開催



2020年6月9日（火）TKPガーデンシティPREMIUM田町において、当協会の2020年度通常総会が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染防止対策として、出席者にはマスク着用、手指アルコール消毒をお願いし、座席間隔を大きくあけ、出入り口の扉を開放し換気をはかるなど対応しました。

総会は正会員76名のうち出席者17名、代理人出席及び委任状によるもの52名を得て開催されました。

まず、司会の青井事務局長が開会を宣言し、出席者数を報告し総会が成立する旨を告げ、片岡代表理事の開会の挨拶のあと、議長は小林常任理事に、議事録署名人は霜村理事と星野理事にお願いすることが全員一致で決まり、議事に入りました。

第1号議案「2019年度事業報告」と第2号議案「2019年度決算報告」は、青井事務局長から資料に基づき説明があり審議され、収支決算内容については、平野監事より監査結果が適法且つ妥当である旨の報告があり、異議なく可決承認されました。第3号議案「任期満了に伴う理事及び監事の選任」は、第17期役員体制の任期満了に伴う、第18期理事及び監事の選任案について選任を求めるもので、1名ずつ可決承認が行われました。

続いて、報告事項として、「会長及び第18期役員体制（案）」、「2020年度事業計画」、「2020年度収支予算」、「警察庁長官賞受賞」、「特別業績表彰他表彰者」について報告されました。

以上をもって議事を終了し、閉会いたしました。



司会：青井 伸 事務局長



議長：小林 正幸 常任理事

片岡代表理事の挨拶

本日は、2020年度通常総会の開催にあたり、会員の皆様には新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言が解除されたとはいえ、未だ東京ではアラートが出されている大変厳しい状況の中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆様には、平素から私ども協会の業務各般にわたりまして、ご指導ご支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

また、例年ですと総会の後半にご出席いただいております伊藤会長、次期会長が予定されています片倉様にも冒頭からご出席いただいております。誠にありがとうございます。後ほどご挨拶を賜りたく存じます。

本日の通常総会は、新型コロナウイルス感染症に係る状況を踏まえ、出席する会員数を減らした対応とさせていただきます。また従来、総会時に実施しております「表彰式」や終了後の「懇親会」につきましても、今回は中止とさせていただきます。とりわけ今年度総会では、協会業務に関し長年にわたり活動し、特に功績のあった方々に対し、警察庁長官賞2人、特別業績表彰5人を含む計25人、3団体に対し表彰を予定していただけに残念でなりません。よろしくご理解を賜りたく存じます。

さて本日の総会では、2019年度の事業報告、決算報告及び任期満了に伴う役員の改選の審議並びに2020年度の事業計画、収支予算を報告することとなっております。審議等に先立ちまして私から当協会の現状と課題についてご報告いたします。

まず防犯設備士制度事業についてですが、防犯設備士の資格取得者数が現在約29700人で、本年中には3万人を超えるものと思われます。

防犯設備士の受験者数は、2年連続して減少し、昨年度は1060人と4～5年前の水準となりました。本年度も5月末に第110回の試験を予定していましたが、緊急事態宣言などを踏まえ、中止といたしました。事業



代表理事：片岡 義篤

運営上大変厳しい状況であり、今後も新型コロナウイルス感染症をめぐる状況は予断を許しませんが、次回9月に予定している第111回試験については、三密対策を徹底するなど万全の感染防止対策を講じて実施してまいりたいと考えています。

上位資格である総合防犯設備士については3年連続して二桁台の合格者をだし、現在404人となっています。何とか低迷を脱した感があり、当面の目標としている500人達成に向け期待が持てます。昨年12月に総合防犯設備士のパンフレットを新たに制作しました。積極的に活用し、受験者増、認知度の向上に努めます。

この関係で2点付言いたします。まず、優良防犯設備士制度の創設です。今年度から、資格更新を行い有効期限内の防犯設備士に対しては、継続的に「日防設ジャーナル」などの情報提供を行うこととしました。これでもって常に最新の知識を習得し、スキルアップしていただき、より社会的信頼性も高まることとなります。こうした方は、優良防犯設備士と名乗ることができるようになりました。未だ更新をされていない防犯設備士との差別化を図るための施策です。

2点目は、防犯設備士資格更新の講習方式の導入についてです。この1年間諸課題を整理し、検討を続けてまいりました。本年度は、2021年度からの試行実施を目指し、その準備を進めてまいります。

もう一つの制度事業でありますRBSS認定事業ですが、これも2008年のスタート以来着実に認定数が増加し、自治体等の入札で仕様書に記載されるなどその認知度は高まっています。昨年末には、アナログHDカメラ、デジタルレコーダをRBSS認定基準に追加いたしました。これは、2013年から市場に登場した同軸アナログHDカメラが、現在急速にその市場を拡大しつつあり、ここ数年は日本国内でもNTSCに代わって拡大してきています。会員企業の間でもRBSS化を望む声が大きくなっていました。昨年12月に基準公開、本年2月から運用開始いたしました。

防犯カメラは検挙だけでなく、犯罪の抑止効果も高いことが裏付けられています。今後とも防犯カメラを一層普及させるために、その有用性をもっと社会に広め、RBSSの認知度、貢献度を一層高めていきます。

三つ目は、地域協会の全県設立に向けた取組みについてです。

1月末に全国で41番目の地域協会（沖縄県防犯設備協会）が設立され、未設置県は残り6県となりました。早期に全国的なネットワーク網が構築されるよう、引き続き未設置県への設立支援に注力してまいります。

今後とも、防犯設備士、RBSSという当協会の根幹をなす事業を中核として、協会職員一丸となってこれら課題に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

最後に、本日まで出席の皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念して私の挨拶といたします。

■ 近藤亮太 警察庁生活安全局生活安全企画課 都市防犯対策官のご挨拶 ■

今年は、新型コロナウイルス感染症防止により、警察庁からはご欠席となりましたが、近藤都市防犯対策官より、ご挨拶文をいただきましたのでご紹介いたします。

貴協会の皆様には、平素より警察行政全般にわたり、御理解と御協力を賜っておりますことに加え、日頃より防犯設備士の認定・育成及び防犯カメラなどの防犯設備の普及を通じ、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、御尽力いただいていることに対しまして、心から敬意と謝意を表する次第です。

さて、最近の犯罪情勢について申し上げますと、昨年中の刑法犯の認知件数は、前年の約81万7千件余りから更に6万9千件減少して74万8千件余りとなり、16年連続で減少しております。このうち、侵入窃盗については、前年の約6万2千件余りから更に5千件減少して5万7千件余りとなり、数値面での改善が続いております。

その一方で、今般、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業中の店舗に対する侵入窃盗や学校の休校中における子供のみが在宅する住居への侵入窃盗が発生しています。

このような新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う各種犯罪を抑止するため、警察庁では、都道府県警察に対し、各種広報媒体を通じて具体的な防犯情報の提供や注意喚起、パトロール等の警戒活動の強化や店舗等に対する防犯指導等の取組を指示しているところであり、貴協会の皆様を含め関係機関・関係団体とより緊密に連携し、組織の総力を挙げて取り組んでいかなければならないと感じています。

また、子供や女性を狙った性犯罪等が後を絶たず、高齢者を狙った特殊詐欺の発生は依然として予断を許さない状況にあるなど、引き続き安全で安心なまちづくりに向けた取組を推進する必要があります。

警察庁では、この取組をさらに強化するため、共同住宅に係る防犯上の留意事項等を定めた「安全・安心まちづくり推進要綱」を本年3月に改正し、建物の構造等を犯罪防止に配慮したものにするハード面の対策を地域住民や事業者による自主的な防犯パトロールや防犯に関する広報啓発、防犯教室等のソフト面の対策を効果的に組み合わせる必要があることを明記したほか、共同住宅の防犯性能に係る認定の仕組みを効果的に活用する旨を盛り込んだところです。



警察庁生活安全局生活安全企画課
都市防犯対策官 近藤 亮太 様

これと併せて、京都府、大阪府、福岡県の各地域協会における防犯性能の高い住宅の認定制度の効果的な運用事例を実査し、執務参考資料として取りまとめて都道府県警察に配布しました。これらの地域では、総合防犯設備士や防犯設備士の方々と警察、そして地域の関係事業者が地域の実情に合わせた形で上手に連携しており、同様の取組が各地で拡充されていくことを期待しています。

さて、令和2年度における防犯設備開発普及功労者表彰につきましては、2名の方が表彰を受けられることに決定いたしました。

表彰を受けられるお二方は、これまで20年以上にわたり、優良防犯機器認定制度(RBSS)の制定・運営や多くのSES E規格の改訂、総合防犯設備士・防犯設備士の普及・育成、安心・安全まちづくり要綱策定への寄与や警察官への防犯知識の普及といった活動に取り組んでこられました。この場をお借りして、改めて深く感謝を申し上げます。

また、貴協会におかれましても、今後とも、刻々と変化する社会の様々な動向を注視しつつ、社会のニーズに応えた優良な防犯設備の普及、その適切な設置・運用のための防犯設備士の育成などの取組により、犯罪の起きにくい社会づくりに向け、更に重要な役割を果たしていただければと思います。

結びといたしまして、貴協会の今後益々の御発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

伊藤会長の退任挨拶

退任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私は2年前の2018年6月に、保坂前会長の後を受け、当協会の会長に就任いたしました。

この2年を振り返りますと、国内経済は米中貿易摩擦や消費税率引き上げの影響がありましたが、概ね底固く推移いたしました。しかし、年初から世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染症の影響があまりにも大きく、今後の事業環境が一変する可能性があります。一方、来年に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は期待したい材料です。

その中で、防犯設備士認定事業は、防犯設備士の認知度を向上させる施策を進めてきました。

具体的には、2018年12月に初めて制作した防犯設備士パンフレットを活用して、会員の皆様をはじめ、防犯関係の業界団体に防犯設備士の活動内容や資格取得方法を説明したり、2年をかけて大幅に改訂した防犯設備士テキストを2019年4月に発行したり、そして、この2020年4月からは長年要望のあった防犯設備士の問題集を発行するなど、ひとりでも多くの方に受験していただくよう働きかけてきました。

もう一つの中核事業でありますRBSS（優良防犯機器認定制度）は、昨年10周年を迎え、この2年間、機器の性能向上や使われ方の変化などに対応し、大きく認定基準を改正しました。この新しい認定基準を広く啓蒙し、さらに安全で信頼できる防犯設備の普及に貢献していただきたいと存じます。



伊藤会長の退任の挨拶

まだまだ、新型コロナウイルス感染症との闘いは続きますが、日本防犯設備協会が、より安全で安心な社会の実現に向け、警察関係や関係諸団体、会員の皆様と連絡を密にとって連携し、力を合わせて活動していただくためにも、引き続き、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、公益社団法人日本防犯設備協会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。

この2年間どうもありがとうございました。

片倉会長の新任挨拶

只今、ご紹介頂きましたパナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社の片倉でございます。

5月に行われました理事会におきまして理事の皆様方にご推挙を頂き、当協会の会長に就任致すことになりました。どうぞ今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

前任の伊藤会長におかれましては2018年6月から2年間に渡り当協会の発展のため、並々ならぬご尽力を頂き、多くの業績を残されました。ここに厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は、1986年に設立され今年で35周年を迎えました。会員は276社に拡大し、事業基盤の一つである防犯設備士制度においては、資格取得者が約30,000名となり、各地で防犯の専門家として活躍頂いております。

今後もさらに防犯設備士の認知度の向上とRBSS（優良防犯機器認定制度）の事業の普及・拡大、そして地域協会の全県設立に向けた支援を積極的にすすめてまいります。

今年は、年明けから急速に広がっている新型コロナウイルス感染症により様々な活動が停止させられ、今後の経済への影響が大きく懸念される状況ではありますが、歴代会長をはじめ、協会活動に携わっ



新任会長：片倉 達夫

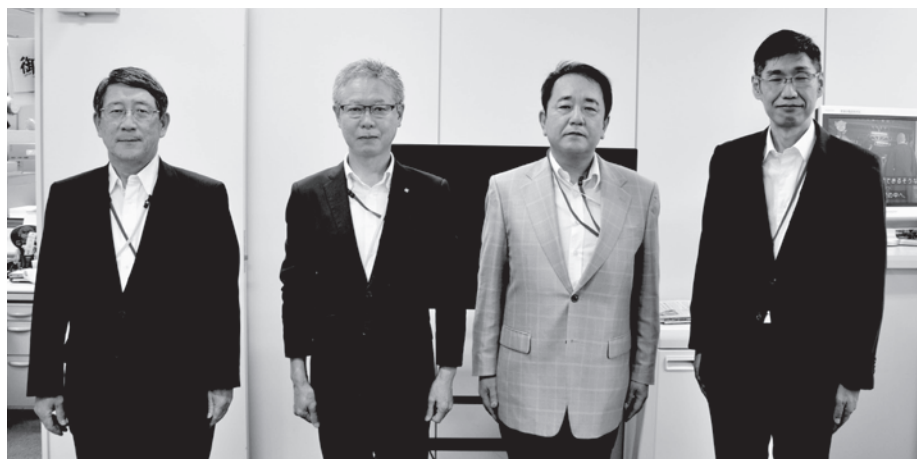
てこられた多くの方々によって築かれた事業の基盤を引継ぎ、「安全・安心なまちづくり」にお役に立てよう微力ながら努力して参りたいと思います。

社会のための協会としてさらに発展するために、引続き、警察関係や諸団体の皆様のご指導、ご協力と会員の皆様方のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。



警察庁長官表彰・防犯設備開発普及功労者表彰

当協会の活動および制度確立のために、永年にわたりご尽力いただいた下記協会功労者2名の方が警察庁長官・協会会長の連名表彰を賜りました。



◆警察庁長官表彰 2名 (氏名は敬称略、理事・委員の五十音順に記載、主な協会活動歴)

(1) 兼光 誠 (かねみつ まこと)

セコム株式会社
テクノ事業本部コンプライアンス室 室長

【協会歴】

・規格調査委員会	委員長	8年
	副委員長	9年
	委員	2年 (1995年～)
・BSSマーク制度委員会	委員	7年 (2003年～)
・BSS委員会	委員	3年 (2010年～)
・RBSS委員会	委員	11年 (2008年～現在)

【表彰歴】

- ・2011年特別業績表彰
- ・2012年業績表彰

(2) 瀬澤 外茂幸 (せざわ ともゆき)

高千穂交易株式会社
システム事業本部 アシスタントマネージャー

【協会歴】

・国際規格委員会	委員	12年 (2000年～)
・BSSマーク制度委員会	委員長	7年 (2002年～)
・BSS委員会	委員長	4年 (2010年～)
・技術基準委員会	委員	9年 (2001年～)
・防犯設備士委員会	委員	17年 (2003年～現在)
・RBSS委員会	委員	11年 (2008年～現在)

【表彰歴】

- ・2011年特別業績表彰受賞
- ・2012年／2014年／2018年業績表彰



2020 年度 会長表彰

本年は表彰規程に基づき、特別業績表彰、業績表彰に加え、部外協力者表彰及び防犯設備士表彰があり、協会の発展及び活動推進に献身的に努力され功績のあった方々が表彰されました。

本来、総会において、表彰式を行い、会長より直接、表彰（感謝）状と記念品が授与されるところですが、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。ついては、受賞されました方々をご紹介します。おめでとうございます。

◆特別業績表彰 5名 （氏名は敬称略、理事・委員の五十音順に記載、主な協会活動歴）

(1)



岸本 俊仁

株式会社ゴール
代表取締役社長

【協会歴】
理事 11年

(2)



駒野目 裕久

池上通信機株式会社
取締役

【協会歴】
理事 10年

(3)



茂木 俊介

キング通信工業株式会社
代表取締役社長

【協会歴】
理事 10年

(4)



穂積 正彦

竹中エンジニアリング
株式会社
前代表取締役社長

【協会歴】
理事 10年

(5)



道家 正宏

キング通信工業株式会社
営業推進課課長

【協会歴】
総合防犯設備士委員会委員（14年）、
同 副委員長（2年）
統計調査委員会委員（4年）、
同 副委員長（11年）

◆業績表彰 13名 (氏名は敬称略、五十音順に記載、今回対象の委員歴)

- | | | |
|---|--|---|
| (1)  天野 博之
オプテックス株式会社 | (2)  大田和 久雄
株式会社日立産業
制御ソリューションズ | (3)  齊藤 賞一
株式会社ライコム |
| (4)  佐川 通朗
株式会社日立産業
制御ソリューションズ | (5)  佐藤 正勝
総合警備保障株式会社 | (6)  進藤 宜幸
株式会社東海理化 |
| (7)  谷川 威人
パナソニック
ライフソリューションズ
創研株式会社 | (8)  中村 清
キャノン株式会社 | (9)  平野 富義
エフビーオートメ株式会社
代表取締役 |
| (10)  古谷 信之
ホーチキ株式会社 | (11)  森島 俊之
パナソニック株式会社
ライフソリューションズ社 | (12)  横田 和典
三菱電機株式会社 |
| (13)  芳野 雅美
東芝テリー株式会社 | | |

◆部外協力者表彰 3団体 (設立順に記載)

- (1)NPO法人 兵庫県防犯設備協会 創立20周年 (1999年6月～2020年6月)
 (2)静岡県防犯設備士生活安全協議会 創立20周年 (1999年8月～2020年6月)
 (3)NPO法人 東京都セキュリティ促進協力会 創立20周年 (2000年3月～2020年6月)
 ※尚、都道府県防犯設備士(業)協会全国大会で別途表彰予定

◆防犯設備士表彰功労賞 3名 (氏名は敬称略、五十音順に記載、主な活動歴)

- (1)加留部 隆一(防犯設備士取得後 14年5ヶ月)
 主な活動歴 NPO法人東京都セキュリティ促進協力会 広報渉外委員会副委員長(通算4年)、
 同 防犯設備士委員会副委員長(通算4年)。同 認定防犯アドバイザー(通算11年)、他
 (2)山田 康雄(防犯設備士取得後 20年4ヶ月)
 主な活動歴 岐阜県防犯設備協会理事(設立時から12年)、同 副会長(現在:通算2年)。
 同 防犯優良住宅認定制度審査員(通算12年)、他
 (3)山本 良信(防犯設備士取得後 18年4ヶ月)
 主な活動歴 大阪府防犯設備アドバイザー(第1期生～現在:約15年)、
 大阪府防犯モデル駐車場審査員(通算18年)、他
 ※尚、都道府県防犯設備士(業)協会全国大会で別途表彰予定